

Title	編集後記 三田哲学会行事報告
Sub Title	
Author	
Publisher	三田哲學會
Publication year	1986
Jtitle	哲學 No.82 (1986. 5) ,p.131- 132
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000082-0131

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

新学期を迎えて三田の山は活気にあふれている。沈丁花の季節から桜の季節に変わった。桜吹雪の日があった。まもなく新緑を見ることになるだろう。今度は銀杏である。

三田哲学会の会長をつとめておられた村井実教授が三田の山を去られたので、こんどは三雲夏生教授が本学会の会長に就任されることになった。三田哲学会は新しい時代を迎えるわけである。充実した研究活動がおこなわれるように努力したいと思うが、会員の方々のご協力をい

ただきたいと思う。

『哲学』の刊行、研究例会の開催などにおいて、会員の方々の積極的なご援助を希望したい。

三田の山にはさまざまな彫刻や碑などがある。建築のひとつひとつが興味深い。壁画もあるし絵画作品もある。三田の山はさながら展覧会場なのである。このキャンパスからどんな研究成果が世に送り出されていくのだろうか。楽しみである。

(山岸 健)

三田哲学会行事報告

1985年

◇5月11日 講演会(大学院校舎311, 午後2時より)

John O'Neill (カナダ・ヨーク大学教授, 社会学専攻)

「Weber and Foucault: Social Production of Docile Bodies」

◇7月13日 三田哲学会総会及び研究例会(A・B会議室, 午後1時30分より)

審議及び承認事項

昭和59年度会計報告(承認)

昭和60年度予算案(承認)

昭和60年度学会活動方針(承認)

研究例会

安藤寿康「遺伝, 個性そして教育」

黒田浩司「心理臨床領域における科学性の問題」

◇10月2日 研究例会(図書館AVホール, 午後3時より)

間瀬啓允「アメリカ哲学の現在——ホワイトヘッドとプロセスの神——」

◇11月29日 研究例会（図書館AVホール，午後4時30分より）

岡田光弘「ゲーデルの不完全性定理の証明論に与えた影響」

◇12月5日 シンポジウム（西校舎527，午後1時より）

「女と男」発表者／荻野恒一・八代修次・平野敏政 司会／山岸 健・西脇与作

◇12月11日 講演会（B・C会議室，3時より）

石黒ヒデ（アメリカ・コロンビア大学教授，哲学専攻）

「ライブニッツの無限小——意味論的考察——」

1986年

◇3月8日 三田哲学会臨時委員会（第三会議室，午後3時より）

審議事項

三田哲学会会長選任について ほか

（以上 敬称略）